

きいた ことを ただしく つたえよう

なまえ

◎ かずきさんたちは、四月しがつに 学校がっこうたんけんを して、 学校がっこうの 中なかの いろ
いろな ばしやが、 どんな やくわりを して いるかが わかりました。
先生せんせいがたに きいた ことを メモにかき、 スピーチする ことに しました。

「かずきさんたちの メモ」

ほけんしつのはやし先生せんせい

・ほけんしつでは、けがを した人
や、ぐあいの わるく なった人の
てあてを する。

・いろいろな くすりが おいて あ
る。 こどもが かってに つかつては
いけない。

・てあてを うけた ひととは、きろく
ように クラスと 名なまえ、けが
の ようすを かくことに なって
いる。

・こどもに、「ありがとう」と いわれ
ると うれしい。



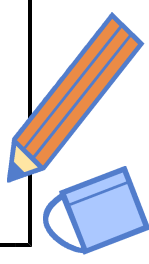
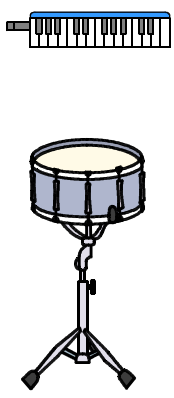
おんがくの たかぎ先生せんせい

・おんがくしつには、たくさんのがっ
きが おいてある。

・おんがくの じゆぎようで つかつて
いる。 かってに さわっては いけ
ない。

・ほうかごは、おんがくぶの 人ひとたち
が がつきを えんそうを してい
る。

・みんなが たのしそうに うたった
り えんそうしたり しているのを
見るみのが うれしい。



① あいてに はなしを きく ときに たいじな ことは なんですか。ただし
ことは○、 まちがって いる ことには、×をつけましょう。

- () ききたい ことを きめて おく。
- () なんでも いいから たくさん きいて みる。
- () 先生や 年上の 人には ていねいな ことばで はなす。
- () よく わからない ときは、もう いちど はなして もらう。
- () よく わからない ときは、しつもんを しない。



② がっこうたんけんで メモに かいた ことを みんなの まえで スピーチ
します。「ほけんしつのはやし先生」の メモを 見ながら ていねいな こ
とばに なるように つづきを かきましよう。

「スピーチ」(ほけんしつのはやし先生)



ぼくは、ほけんしつのはやし先生に おはなしを ききました。
ほけんしつでは、けがをした ひとや、ぐあいの わるく なった ひとの
あてを

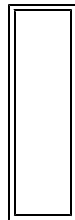
てあてを するために いろいろな くすりが おいてあります。くすりは、
ほけんしつの先生が いないと つかえません。

てあてを うけた 人は、 しろくようにしに クラスと なまえ、けがの
ようすを かくことに

はやし先生は、てあての あとに 「ありがとう」と いわれることが うれ
しいと 言って いました。



③「おんがくの たかぎ先生」の メモを みながら スピーチの つづきを
かんがえて



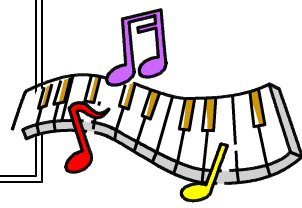
の 中^{なか}に かきましよう。

「スピーチ」(おんがくの たかぎ先生)

わたしは、おんがくの たかぎ先生^{せんせい}に おはなしを ききました。

おんがくしつには、たくさんの がっきが おいて あります。がっきは、
じゅぎょうで つかっているの^ので かってに さわっては、 いけません。

ほかごは、おんがくぶの 人^{ひと}たちが がっきを えんそう しています。



きいた ことを ただしく つたえよう (こたえのれい)

なまえ

◎ かずきさんたちは、四月しがつに 学校がっこうたんけんを して、 学校がっこうの 中なかの いろ
いろな ばしやが、 どんな やくわりを して いるかが わかりました。
先生せんせいがたに きいた ことを メモにかき、 スピーチする ことに しました。

【 かずきさんたちの メモ 】

ほけんしつのはやし先生せんせい

・ほけんしつでは、けがを した人
や、ぐあいの わるく なった人の
てあてを する。

・いろいろな くすりが おいて あ
る。 こどもが かってに つかつては
いけない。

・てあてを うけた ひととは、きろく
ように クラスと 名なまえ、けが
の ようすを かくことに なって
いる。

・こどもに、「ありがとう」と いわれ
ると うれしい。



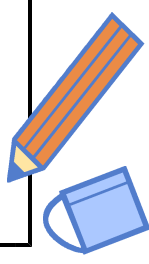
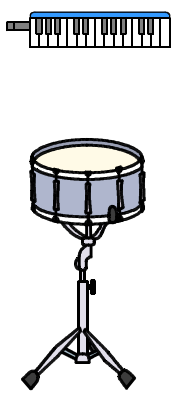
おんがくの たかぎ先生せんせい

・おんがくしつには、たくさんのがっ
きが おいてある。

・おんがくの じゅぎやうで つかつて
いる。 かってに さわっては いけ
ない。

・ほうかごは、おんがくぶひとの人たち
が がつきを えんそうを してい
る。

・みんなが たのしそうに うたった
り えんそうしたり しているのを
見るみのが うれしい。



① あいてに はなしを きく ときに たいじな ことは なんですか。ただし
ことは○、 まちがって いる ことには、×をつけましょう。

- (○) (ききたい ことを きめて おく。)
- (×) (なんでも いいから たくさん きいて みる。)
- (○) (先生や 年上の 人には ていねいな ことばで はなす。)
- (○) (よく わからない ときは、もう いちど はなして もらう。)
- (×) (よく わからない ときは、しつもんを しない。)



② がっこうたんけんで メモに かいた ことを みんなの まえで スピーチ
します。「ほけんしつのはやし先生」の メモを 見ながら ていねいな こ
とばに なるように つづきを かきましよう。

「スピーチ」(ほけんしつのはやし先生)



ぼくは、ほけんしつのはやし先生に おはなしを ききました。
ほけんしつでは、けがをした ひとや、ぐあいの わるく なった ひとの
あてを

例 します。 しているそうです。
するそうです。 するといっていました。

てあてを するために いろいろな くすりや おいてあります。くすりは、
ほけんしつ先生が いないと つかえません。

てあてを うけた 人は、 しろくようにしに クラスと なまえ、けがの
ようすを かくことに

例 なっています。

はやし先生は、てあての あとに 「ありがとう」と いわれることが うれ
しいと 言って いました。



③「おんがくの たかぎ先生」の メモを みながら スピーチの つづきを
かんがえて
の 中にかきましよう。

「スピーチ」(おんがくの たかぎ先生)

わたしは、おんがくの たかぎ先生に おはなしを ききました。

おんがくしつには、たくさんのがつきが おいて あります。がつきは、
じゅぎょうで つかっているので かってに さわっては、 いけません。

ほかごは、おんがくぶの 人たちが がつきを えんそう しています。

例

たかぎ先生は、みんなが楽しそうに歌ったり、演奏したりしているのを
見るのがうれしいと言っていました。

※②の問題 スピーチ「ほけんしつのはやし先生」を参考にして文章の
続きを考える。

